

事例共有アンケート「2 情報交換等を希望する事項」に対する回答

皆さまからいただいた回答のうち、類似していると思われる回答は、同じ項目でまとめております。

第1回会議では、No.4の広報活動について情報交換をしたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

No	委員名	内容
1	社会福祉士 宮澤委員	・自立支援法の計画と実行に当たり、何が課題になるかを考えたい。
2	社会福祉士 宮澤委員	・継続した支援は誰が担うのか。
	藤沢市子ども青少年部こども家庭センター 鶴井委員	・「女性が女性であるが故に抱える問題」に対する支援の在り方について、藤沢市としてどう捉えていくか →①継続した関わりの中で課題を把握した場合に、必要な支援、制度、部門と協働して対応していく場合 協働が必要で、“つないで”終わりにしない意識の醸成【つながっている女性】
3	社会福祉士 宮澤委員	・広域な支援機関や支援団体が必要だと思われるのでどのように作っていくのか。
4	ウィメンズハウス・花みずき 北川委員	・困難を抱えた女性たちの居場所として、7月から県と協働でE-Basho(いいばしょ)の運営をしている。早期的相談や退所後の継続支援だけでなく、地域の女性たちの安心して過ごせる居場所を開催している。個別の相談や継続的な面接相談にも繋がっている。広く広報したい。
	神奈川県母子家庭等就業・自立支援センター 高橋委員	広報活動に課題を感じております。 具体例としては離婚前に手続き等の情報提供を行う『離婚前セミナー』を開催しておりますが、有効な広報が打てておらず参加者が少ないのが実際のところです。公正証書作成で養育費の支払いが滞っても強制執行できる等、有益な情報をお伝えしているのですが、必要な方に情報を届けられていないと感じております。 他の組織で広報活動がうまくできている例があればご紹介いただきたいです。

No	委員名	内容
5	インクルージョンネットかながわ 表委員	①藤沢市の地域的特性について共有してほしい。
6	インクルージョンネットかながわ 表委員	②藤沢市の女性相談は非常に評判が良いがどのような相談を多く受けているのか教えてほしい。
7	インクルージョンネットかながわ 表委員	③女性自身が困った時に相談する場所を認識するような仕組みを作る事について
	藤沢市子ども青少年部こども家庭 センター 鶴井委員	・「女性が女性であるが故に抱える問題」に対する支援の在り方について、藤沢市としてどう捉えていくか →②問題・課題を抱えている女性が、相談できる場所はどこかを明示していくこと【つながりたい女性】
8	インクルージョンネットかながわ 表委員	④女性自身が自ら持つ権利があるという事を知るための仕組みを作る。
9	インクルージョンネットかながわ 表委員	⑤生活困窮に陥った女性たちが役所の担当窓口安心して行ける仕組みを作る。
10	藤沢市福祉部生活援護課 安西委員	DV以外の困難女性への支援について、それぞれの関係機関でどのような支援が可能か、具体的な支援内容等、詳細を知りたい。
11	藤沢市子ども青少年部こども家庭 センター 鶴井委員	・「女性が女性であるが故に抱える問題」に対する支援の在り方について、藤沢市としてどう捉えていくか →③問題・課題を抱えつつも、そのことを表出できず(相談できず)、孤立・孤独の中で問題・課題がより重篤化していく、そのような女性にどうアプローチしていくか【つながれない女性】